増減資産用の場合

（記入例３）

資産名称を記入してください。

申告年度を記入してください。

帳票識別コード	
申告区分	☑当初申告 ・ □修正申告
処理方式	☑一般処理 ・ □電算処理
申告書等送付番号	

所有者名	枚のうち
流山株式会社	枚目

令和　　年度

種類別明細書（増減資産用）

行番号	異動区分 (注1)	資産の種類 (注2)	物件番号	資産の名称等	数量	取得年月 (注3) 年号	年	月	元日取得 (注4)	取得価額 (注5)	耐用年数	申告年度	増減事由 (注6)	摘要 (注5)
01	3	2	0002	コンプレッサー	1	4	30	9		165,000	10		6	消費税分加算漏れ（加算前価額：150,000円）
02	2	6	0002	キャビネット	1	5	2	5		100,000	15		4	2台中1台廃棄　2台（200,000円）のうち1台（100,000円）減少
03	2	6	0003	パソコン	0	5	5	3		0	6		4	減少前取得価額：250,000
04														
05														
06														
07														
08														
09														
10	1	1		カナアミフェンス	1	5	8	3		1,200,000	10		1	
11	1	6		パソコン	3	5	7	5		630,000	6		1	令和８年度申告漏れ
12	1	6		プリンター	1	5	9	1	1	228,800	4		1	元日取得
13														
14														
15														
16														
17														
18														
				小　計	7					2,323,800				

〈資産の種類〉
１：構築物
２：機械及び装置
３：船舶
４：航空機
５：車両及び運搬具
６：工具、器具及び備品
番号を必ず記入してください。

〈異動区分〉
資産の異動がある場合
１：増加
２：減少
３：訂正
番号を必ず記入してください。

異動区分が「２：減少」の場合
減少後の取得価額（減少後に残っている価額）、数量を記入してください。
また、摘要欄に減少前の取得価額を記入してください。
例. 全部減少の場合は金額及び数量に０を記入

〈取得年月〉
年号の欄は
５：令和
４：平成
３：昭和
番号を必ず記入してください。

〈元日取得〉
増加資産の取得日が１月１日である場合は、元日取得の欄に“１”を記入してください。

〈耐用年数〉
耐用年数省令または国税局長が認めた耐用年数を必ず記入してください。

〈増減事由〉
１：新品取得
２：中古品取得
３：売却
４：滅失
５：移動
６：その他
番号を必ず記入してください。

資産の種類ごとに取得価額を合計して、償却資産申告書の取得価額欄「前年中に取得したもの」「前年中に減少したもの」にそれぞれ転記してください。

【重要】
減少資産がある場合、「申告書」「種類別明細書」で記入する金額が異なります。
・申告書・・・前年中に減少した価額
・種類別明細書・・・減少後に残っている価額